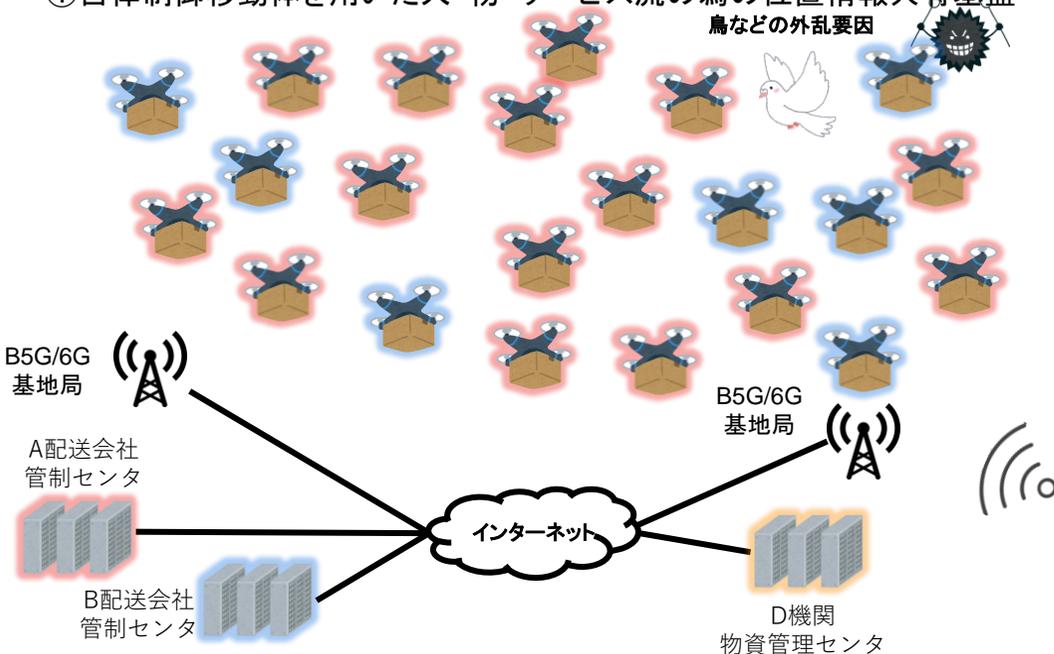


超多数・多種移動体による人流・物流のための ダイナミックセキュアネットワークの研究

研究概要： Beyond 5G/6Gの時代には、超多数・多様な貨物ドローン等の移動体の密な空間での協調稼働による時空間の有効活用が期待され、多数の移動体間でのセキュリティを確保し周波数資源を節約した上での高頻度・低遅延な相互通信が求められる。本研究開発では、通信効率性の高い認証方法、柔軟性が高く検証可能な属性提示方法および信頼性の高い位置情報の生成・記録方式、そしてそれらのソフトウェア・ハードウェアの開発などを通して、次世代の物流に不可欠なセキュリティ基盤技術を確立し、**66%以上の周波数帯域削減効果**を得ながら**片道処理時間が0.04秒、往復応答0.1秒未満**でのセキュアな情報交換を可能にすることでSociety 5.0の実現に寄与する。

①自律制御移動体を用いた人・物・サービス流の為の位置情報共有基盤
鳥などの外乱要因



不正なデバイスの検知

異なる管理主体間での
センシング情報・衝突防止位置情報交換

複数手段による信頼性の
高い位置情報取得

メッセージ認証子による
改竄防止・通信の相手の認証

物資などの情報を集約して
送信・管理

ID/アクセス権限の柔軟性/なりすまし防止による
盗難・すりかえ防止

②貨物情報などの集約管理基盤

【契約期間】令和3年度～令和4年度（ステージゲート評価予定）【契約総額】 約1.0億円

【受託者】 ジャパンデータコム株式会社（代表研究者）、学校法人早稲田大学